

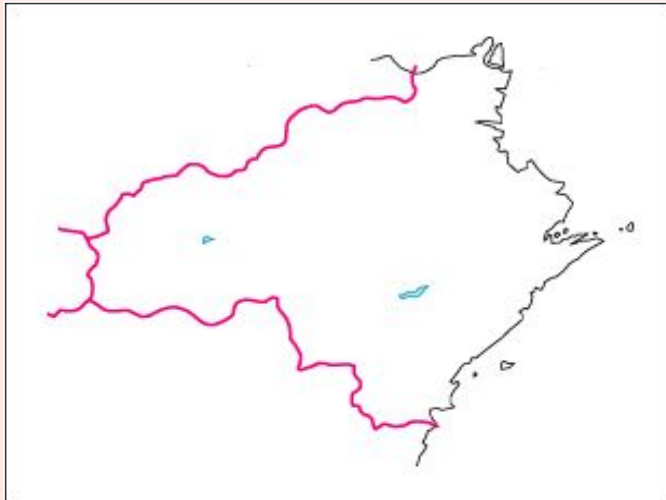
徳島県

地域移行に関する現状と今後

徳島県では、ピアサポーターの活用や、長期入院の高齢患者に対する地域移行の促進を行っている。

1 県の基礎情報

徳島県



取組内容

【人材育成の取り組み】

- 市町村新任職員等研修
- 相談支援従事者研修

【精神障害者の地域移行の取り組み】

- 高齢入院患者地域支援事業
- ピアサポートの活用事業

基本情報

| | |
|----------------------------|--------------------------------------------------|
| 圏域数★ | 3カ所 |
| 人口 | 776,790人 |
| 精神科病院の数 | 17病院 |
| 精神科病床数 | 3,928床 |
| 入院精神障害者数 | 3か月未満：419人（12%） |
| | 3か月以上1年未満：401人（11.7%） |
| | 1年以上：2,622人（76.2%） |
| 退院率 | 入院後3か月時点：56.7% |
| | 入院後1年時点：14.6% |
| 相談支援事業所数★ | 一般相談事業所数：7 |
| | 特定相談事業所数：0 |
| 障害福祉サービスの利用状況 (H27年11月) | 地域移行支援サービス：3人 |
| | 地域定着支援サービス：1人 |
| 保健所★ | 6カ所 |
| (自立支援)協議会★ | (人材育成について議論)：人材育成部会 (活動頻度)：2回/年 |
| | (精神障害者の地域移行について議論)：地域自立支援協議会推進部会 (活動頻度)：10回/年 |
| 精神保健福祉審議会 | 1回/年 |

※H24年6月時点

★印はH28年2月時点

2 都道府県としての精神障害者の地域移行推進のための人材育成の取り組みの経緯

平成24年度に「ピアサポートセンター等設置推進事業」を実施し、ピアサポーターの養成等を3事業所に委託した。

東部圏域の2事業所と西部圏域の1事業所が実施主体となり、事業を実施した。事業内容としては、ピアサポートに関する講演会やピア活動に関する学習会の開催、ピアサポート活動の現場の見学、ピアサポーターの育成研修等を実施した。

平成25年度には、平成24年度に養成したピアサポーター等を活用し、東部圏域・南部圏域・西部圏域の3保健所でピアサポートの活用事業を行った。活動可能なピアサポーターの情報については、「ピアサポートセンター等設置推進事業」の委託事業所や医療機関、地域活動支援センター等の職員に紹介していただいた。

活動内容については、ピアサポーターに精神科病院に出向いてもらい、地域での生活がイメージしやすくなるよう、退院後の生活等について、体験発表等を行っていただいた。

3 都道府県としての精神障害者の地域移行の取り組みの経緯

保健所が実施主体となり、平成18年度より「精神障がい者地域サポート検討会」を実施している。

内容としては、精神障がい者が治療を中断することなく通院しながら適切な治療を受け、地域で生活ができるように、関係機関が連携を図りながら支援する体制を整備するため、講演会・事例検討会を実施する。

講師として、徳島県立中央病院や地域活動支援センターの職員を招き、地域移行に関して必要な事項を説明していただく。

検討会を通じて判明した課題。

- ①入院早期からの退院支援が必要であり、医療関係者のみならず、地域支援者についても役割が重要であること
- ②医療及び地域支援者に周知が不足していること等により、地域移行支援・地域定着支援についての活用がほとんどない。
- ③退院後生活環境相談員については、知名度が低く、医療機関以外には認識が不十分である。

3-1 東部・南部・西部圏域の取組①

地域移行については、平成16年に示された「入院医療中心から地域生活中心へ」という国の基本理念に基づき、徳島県では平成19年度に徳島保健所管内でモデル的に実施し、平成20年度からは全圏域を対象に実施してきた。

平成23年度までは、入院患者のうち、症状が安定しており受入れ条件が整えば退院可能である者に対して、「地域移行推進員」を配置し、情報提供や助言を行うとともに、関係機関が連携しながら退院のための訓練等を行うことで、地域移行を支援し、社会的自立を促進した。

平成24年度から、「高齢入院患者地域支援事業」を実施し、高齢の長期入院患者に対して、院内の専門職種と地域の関係者がチームとなり、退院に向けた包括的な支援プログラムを実施することで、地域移行を促進した。

平成26、27年度は、高齢長期入院患者に対する退院支援を、地域の関係者と院内のスタッフがチームを組み、退院に向けた意欲の喚起、環境調整等を実施し、地域移行に向けた退院支援を実施している。

4 都道府県としての来年度への抱負

地域移行推進のための人材育成について

- ・長期入院の高齢患者の退院支援については、4年間の実績により一定の効果があつた。今後は、自らの体験を発表すること等により患者の退院後の不安を軽減するピアサポーターの養成・活用を目指す。

市町村支援について

市町村とより連携を深めて、地域移行を促進していく。

地域移行の推進について

病院内の医師、看護師、精神保健福祉士等の多職種と、相談支援専門員や介護支援専門員といった地域の関係者が連携し、退院に向けた包括的な支援を行う。

5 次年度の戦略

長期目標

早期の退院に向けて病状が安定するための退院支援を提供すること（平成30年まで）

短期（次年度）目標

ピアサポーターを活用した退院支援の促進を図る。

目標達成のためのスケジュール(いつ、だれが、何を、どのように実施するか)

| 時期 | | |
|-------------|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| H28年度 通年 | 実施主体:保健所 | 「精神障がい者地域移行支援事業」 ピアサポーターを活用し、体験発表等により地域での生活をイメージしやすくし、地域移行の促進を目指す。また、ピアサポーターが病院内で活動することにより、病院内の地域移行に対する意識を高めていく。 |